

目について知る動画とサイトの制作

A2201108 菊池 瑞希

研究の概要(背景)

自分は幼いころから「近眼」が重度の悩みの種である。ゆえに目が見えないことへの大変さや辛さをよく知っているが、パソコンやゲームなどが普及した現在、近眼者は更に増えているという。近眼に限らず、目に関することは厄介なものが多い。人間が得る情報の約9割は目から入ってくることや、代えのきかない部分の一つであること、死ぬ(見えなくなる)まで絶対に使い続ける部分であるなど、目はとりわけ重要であり、正しい知識を得て目を大切にしていけるべきである。しかし目について調べてみると、難しいものも多くある。本でもインターネットでも専門用語が多用されていたりして、特に子供には取っ付きにくいところがあるように思えた。

研究のねらい

目の構造や病気(今回は近視)について、子供や一般人でも納得しやすく、かつ親しみやすいサイトを制作し、目の大切さやしくみ、役割を知ってもらおう。

研究のプロセス

(1) 目についての勉強・説明部分の選定

子供にも抵抗なく学んでもらうには、専門用語や細かい構造・機能などは説明しないほうが良いと考え、あえて知られやすい目の構造を選び、専門用語を砕いて説明する

(2) キャラクター及びサイトイメージの制作

親しみを持ってもらうため、サイト及び動画内で動き回るキャラクターを複数制作

例:



:眼球のキャラクター



:水晶体 + のキャラクター



:網膜細胞のキャラクター-A



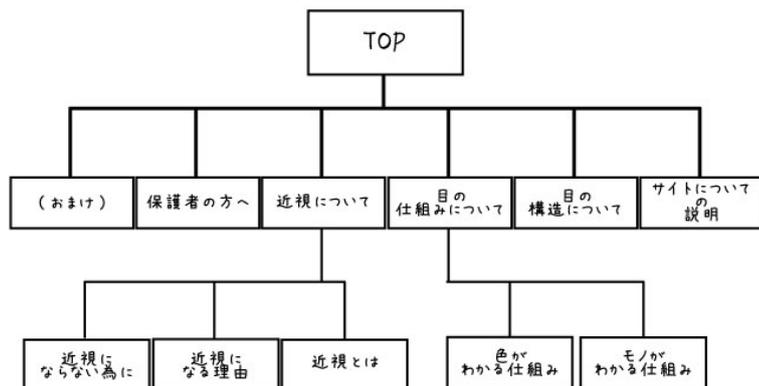
:網膜細胞のキャラクター-B

(3) 動画の制作

従来の目についてのサイトがとっつきにくいと感じるのは、専門用語が多いのと同時に、静止画が連続して貼られているのみで、飽きてしまうからではと考え、内容に関しては動画にすることにした。

目の構造、目の仕組み、近視関連は動画で視覚的に分かりやすいよう、また楽しめるよう、編集や演出を工夫した

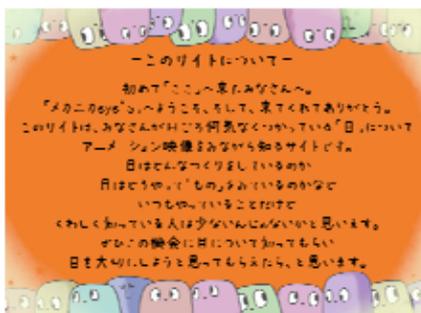
成果物(完成作品)



: サイトマップ



: サイト TOP



: サイトについて



: 目の構造について A



: 目の構造について B

考察

眼球の構造について調べてみると、カメラの構造と一緒に説明されていることが多々あるが、小中学生を対象とすると、カメラの構造も言うなれば専門用語なため、余計に混乱される可能性があった。例を出さずに説明するというのは難しかったが、人に説明するために詳しく調べることで、同時に自分の中での理解も深まり、とても有意義な制作となった。